

文部科学省 新学術領域研究「蛍光生体イメージ」が
主宰する合宿型ワークショップ

第3回 Vivid Workshop

応募資格：蛍光ライブイメージングを行っている若手ならどなたでも。

参加者全員が口頭発表・ポスター発表の両方をします。

募集人数：20名程度。応募多数の場合は参加できない場合もあります。

費用：全額主催者負担。

日時：H25年2月21-23日（木-土）

場所：石川県加賀市山代温泉



参加希望の方は、12月21日午後5時までに、メールを送信してください。

申し込みフォームをお送りします。お気軽にお問い合わせください。



他分野の方々の発表や意見を聞くことで、自分の実験への応用に役立つと思いました。

バイオセンサーを創る・技術を高める

近赤外プローブやナノキャリアの創製
FCS、FRAP、光操作などの技術開発

動態を視る・神経を知る

FRETを使う・血管形成を理解する

イメージングして初めてわかった、
発生・癌・免疫・神経・血管の制御
ゼブラフィッシュからマウスまで
生きたまま観察する方法の確立

昨年のプログラムより



若手の活発な研究は、互いに刺激になりました。

これまで実験方法や理論など周囲の誰に聞けば良いのかわからなかったが、本ワークショップを通じて知り合いがふえたので助かりました。

昨年度の様子や内容の詳細については、領域のホームページをご覧ください。

<http://www.lif.kyoto-u.ac.jp/imaging/index.html>

Vivid Life Science